JD障害者のしあわせと平和を考えるシリーズ11

憲法と障害者2025

戦後・被爆80年　あらためて憲法・障害者権利条約の真価を共有する！

―核兵器廃絶・人としての尊厳を尊重する社会の実現をめざす―

開催日時

2025年 11月1日土曜日　13時から17時

開催方法

ズームオンライン開催　定員500名　見逃し配信あり

手話通訳、文字通訳、テキストデータ、点字資料(要約版)あり

※見逃し配信では手話通訳なし

参加費

1500円　障害者と学生は1000円

企画概要

広島と長崎に原子爆弾が投下されて今年で８０年目をむかえている。しかし、人類はいまなお、核兵器の危機に直面している。ウクライナやガザで続く流血の惨禍の中で、核兵器による威嚇が繰り返されている。アメリカや北大西洋条約機構（NATO）も「核抑止力」にしがみつき、その維持・強化を図っている。世界唯一の戦争被爆国・日本の政府は、アメリカの「核の傘」に依存することに固守し、核兵器禁止条約に背を向け、いまだ批准どころか署名さえしていない。核兵器は、人間として死ぬことも、人間らしく生きることも許さない、ただ「絶滅」だけを目的とした兵器である。この完全廃絶は、いま地球規模での重大な課題になっている。

私たち日本障害者協議会は、障害者のしあわせと平和を考えるシリーズ―『憲法と障害者』の企画を10年以上連続して開催してきた。今回の企画は、戦後・被爆80年という節目にあたって、核兵器の脅威とその廃絶とともに、人としての尊厳を尊重する課題を一つのこととして企画化した。この間の優生裁判をはじめとした障害者にかかわる裁判闘争とその最高裁判決の内容・その後の課題について、尊厳の尊重という視点で学び共有していく機会になることを願って、一人でも多くの方々の受講をよびかける。

内容

第１部　講演

『被爆80年　核兵器廃絶の課題と日本の役割』／ 安井正和さん (原水爆禁止日本協議会[日本原水協] 事務局長)

第２部　特別シンポジウム

『憲法・生存権－人としての尊厳を尊重する社会の実現をめざす！』

基調報告 ／ 藤井克徳さん(JD代表)

シンポジスト／

①鈴木由美さんと松本多仁子さん (優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会 原告と支援者)

②佐藤晃一さんと永瀬恵美子さん (いのちのとりで裁判全国アクション 原告と支援者)

③天海正克さんと纐纈建史さん (天海訴訟を支援する会 原告と支援者)

コーディネーター ／ 藤井克徳さん(JD代表) ・ 増田一世さん (JD常務理事)

お申し込み

下記のお申込み事項をご記入の上、FAXまたはＥメールにてお送りください。

お名前、お名前のふりがな、所属団体、メールアドレス、参加枠(一般・障害者・学生)、住所、電話番号

以下を希望する場合はお伝えください。

手話通訳、文字通訳、テキストデータ、点字資料(要約版)あり

メールアドレス：office@jdnet.gr.jp

FAX：03-5287-2347

ウェブ受付もあります。

<https://forms.gle/m2c89ytWC7hrpaMQ6>

参加費お支払い方法

参加費1500円(障害者・学生は1000円)を、次のいずれかの口座に10月24日(金)までにご送金ください(遅れる場合はご一報ください)。

※ 送金手数料はご負担をお願いします。

※ ご欠席時の払い戻しはいたしませんのでご了承ください。

◎郵便振替口座　00120－2－70876

◎ゆうちょ銀行　(当座)　〇一九(ゼロイチキュウ)店 0070876

口座名義はいずれも 日本障害者協議会

◎巣鴨信用金庫 早稲田支店（普）3116627

口座名義 トクヒ) ニホンショウガイシャキョウギカイ

お問い合わせ

認定NPO法人日本障害者協議会(JD)

〒162-0052　東京都新宿区戸山1-22-1

Ｅメール：office@jdnet.gr.jp

TEL：03-5287-2346

FAX：03-5287-2347